

復興まちづくり協議会・地権者連絡会
ニュースレター

復興まちづくり協議会・地権者連絡会を開催しました

東部地区（港町）における復興事業のうち、これまでの経緯、災害危険区域、東部地区（港町）の復興整備事業、甲子川水門計画について説明し、参加者の皆様と意見交換を行いました。

開催概要 開催日：平成 26 年 6 月 26 日（木） 時 間：18：30～19：40
場 所：市役所第 4 庁舎 3 階第 7 会議室 参加人数：20 人



これまでの経緯

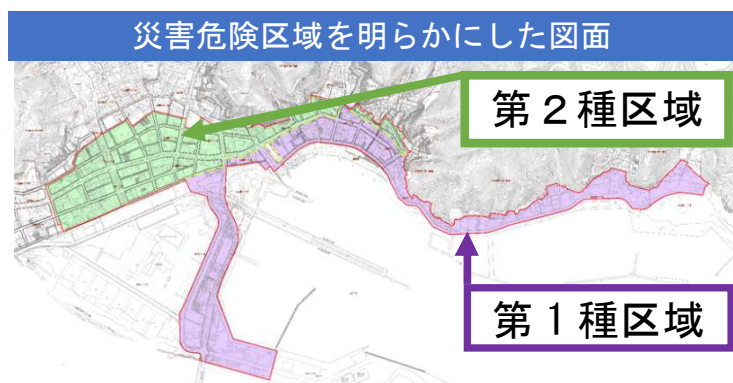
- | | |
|--------------|-------------------|
| 平成 25 年 6 月 | 東部地区まちづくり協議会 |
| 平成 25 年 11 月 | 第 1 回グリーンベルトを考える会 |
| 平成 25 年 11 月 | 地権者説明会 |
| 平成 25 年 12 月 | 若者意見交換会 |
| 平成 26 年 1 月 | グリーンベルト意見交換会 |
| 平成 26 年 3 月 | 第 2 回グリーンベルトを考える会 |

災害危険区域について

【居住の用に供する建築物の制限】

第1種区域:居住の用に供する建築物を建築できません。

第2種区域:市長が別に定める構造等の基準を満たす場合を除き、居住の用に供する建築物を建築できません。



東部地区（港町）の復興整備事業について

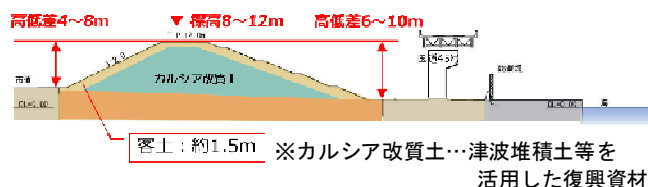
港町にお住まいだった方で第1種区域のみなさまの住宅再建について

- ①この区域では、住宅再建を行うことができません。
- ②震災で住宅を失い、自力では住宅の確保が難しい方々のため、災害復興公営住宅を整備します。
- ③自力再建を希望される方につきましては、各種補助事業を活用し、安全な場所にて再建していただきたいと思います。

グリーンベルトの整備イメージ



◆断面图 東西方向



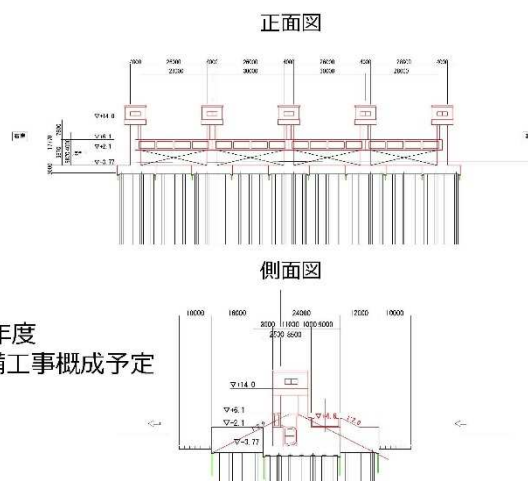
【別資料 13,14,16 ページ】

- できるだけ盛土構造が連続した避難路（一時避難場所を含む）を配置する



スケジュール ※状況に応じて変更することがあります。

平成25年度	平成26年度		平成27年度		平成28年度
下期	上期	下期	上期	下期	上期
	基本設計				
	実施設計				
	現在	盛土			
		構造物			
				修景・緑化	
	工事期間				



平成29年度
水門整備工事概成予定

このような意見をいただきました

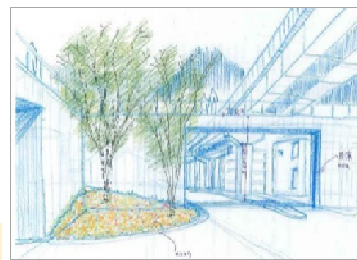
- 移転補償の件で確認だが、移転補償は上限 80 万円である。私の場合は移転が連絡されており、以前住んでいた建物の取り壊し費用などと説明を受けたが、今まで工場の取り壊し費用は説明を聞いていない。動くときに費用が発生するのか？

説明した移転補償費は、被災された方々が新たに住宅を自力再建するものについてです。グリーンベルト用地内の工場については、別途補償調査をかけてそれとは違った内容での対応となりますので、個々でご相談をさせていただければと思います。



- グリーンベルトの説明で、道路の横断部に水門の門扉のようなものができる※とのことだが、イメージがわからない。現在でも車両がそこを渡るときに、非常に視界が悪く、危険である。今でも危険なうえ、さらにそのような水門のようなものができる、横から来る車の発見が遅くなる。その安全対策について、例えば信号設置を何回も警察にお願いしているが、北側信号に近いために付けられないと聞く。その辺の安全に関する配慮をお願いしたい。

その件は地権者とお話したときも出ました。今は基本設計という概略的な設計であり、今後、詳細設計というより細かな設計に入りますので、その中で工夫をさせていただければと思います。



※道路の横断部にできる水門の門扉のようなもののイメージ

- 先程の説明では、土地を全部買い取るつもりと聞いた。港町1丁目の公共埠頭から入ったところに私の土地があるが、私はその金額に同意していない。同意しなければ、この計画は実現できないのではないかと？

(岩手県) 港湾の荷物や資材置場を整備しようと考えており、ご協力いただけた土地で工事を進めさせていただければと考えています。

- 今日の説明で、グリーンベルトは現在基本設計とのことだが、今後いくらか変更があるのか？ また、それに伴い、平成 28 年度の上期終了がいくらか延びる可能性もあるのか？

基本設計から詳細設計に入り、一部の設計変更が生じる可能性はあります。今の段階では、説明したイメージで進める計画ですが、先ほどの交差点設計協議や測量、各種調査過程での問題もあろうかと思っておりますので、皆さまの意見を取り入れて変わる可能性もあります。なお、今考えている工程は、平成 27 年度末の完了ですが、状況により工程を変更することもありますのでご理解下さい。

- 震災の時に妻も津波にのまれたが、ちょうど石炭山があり、その2山目に流れつき助かった。盛土で小山となるグリーンベルトは、人命を救助する意味でも、非常に重要ではないかと思う。

復興事業については、できる限り皆様の期待に応えられるよう進めていきたいと思っております。
1日も早く工事を完成させたいと思っておりますので、ご協力をよろしくお願いいたします。



復興計画の事業進捗等については復興新聞や市のホームページでも公開しています。
あわせてご覧ください。

■協議会等に関するお問い合わせ
釜石市復興推進本部

TEL : 0193-22-2111 (内線 132)
FAX : 0193-22-6120